

科目名	臨床心理学						授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	2	単位	配当学年時期	1年	後期	
【授業の目的・ねらい】 人の心理を理解しその対応方法まで学ぶ											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】 各種心理検査や心理療法を理解する											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 対象者に関わるさいに必要な各種心理検査や心理療法を必要となる部分を取り出し対象者に適用させることができる 国家試験に必要な各種心理検査や心理療法を理解し説明することができる											
回数	講義内容										準備物(教材)
1	オリエンテーション、臨床心理学概論										
2	神経症とDSMの診断体系（各種神経症関連疾患を含む）										
3	各種心理療法（心理学者と研究業績、技法、面接の基本技法、心理状態、転移・逆転移を含む）										
4	各種心理療法実践										
5	各種心理療法実践										
6	心理検査概論										
7	心理検査方法①										
8	心理検査方法②										
9	心理検査方法③										
10	心理検査方法④										
11	心理検査方法⑤										
12	心理検査方法⑥										
13	防衛機制										
14	障害受容、学習理論（記憶）、心理発達										
15	まとめ										
定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 標準理学療法学・作業療法学 臨床心理学（町沢静夫）医学書院 PTOT国家試験必修ポイント2019専門基礎分野臨床医学 医歯薬出版											
【準備学習・時間外学習】 前期に実施した心理学の復習をしっかりとっておくとともに、毎回の講義の復習を行う。 また、各種心理検査は今後対象者に実施することになるので、オリエンテーションを含めて実施できるように演習しておくこと。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 小テスト10点、課題の評価40点、定期試験50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。											